

平成29年度第2回宮代町立図書館協議会議事録

■日時：平成29年12月19日（火）16時00分～17時44分

■場所：宮代町立図書館研修室

■出席者

- ・委員：菊地正明（会長）、国川恵子（副会長）、矢澤和江、遠藤和代、鈴木清三、宮野紀子、佐藤将行、八重樫元、遠藤充、（欠席：葛西博行）※順不同、敬称略
- ・指定管理者（㈱図書館流通センター）：清水図書館長、永堀一般チーフ、水口児童チーフ
- ・事務局（宮代町教育委員会）：飯山生涯学習室長、田中主査、小林主任

■次第

1 開会

2 挨拶

3 報告事項

(1) 平成29年度上期の図書館事業報告について 資料1

4 その他

5 閉会

■会議概要

◇3 報告事項(1)平成29年度上期の図書館事業報告について

…図書館長から資料1「平成29年度上期事業概要」について説明。

≪質疑応答等≫

委員：蔵書の購入数については、経年的にみるとどのような状況なのか。

図書館：微増である。

委員：ADEACの助成金とは具体的にいくらか。

図書館：公益財団法人図書館振興財団の助成金で、金額は3年間で約100万円。今後、郷土資料館と調整するが、島村盛助氏の関連の資料等をデジタル化公開したいと考えている。

委員：資料だけでなく、他のことに助成金を使用できないのか。

事務局：昨年度に実施した郷土資料のデジタル化公開の延長であり、資料の拡充を図ることを目的とした助成金であるため、他の用途では使えない。

委員：第6回宮代町図書館で調べる学習コンクールの中学生への出張講座とは授業中に行ったものなのか。

図書館：授業時間を確保してもらった。しかし、開催時期が応募締切間近の夏休み明けとなってしまったため、来期以降の参加を目指しての下地作りとして行った。

委員：コンクールに入選した小学生については、賞状をもらって来年の参加に向けての意欲が高まったように感じられた。

資料には記載されていないが、子ども司書講座に参加した子供達もおり、参加の様子を写真にしたものをいただき、ありがたかった。

図書館：子ども司書講座については、6～12月に月1回のペースで開催し、9名の参加があった。9名全員がすべての講座に出席し、認定書を受け取った。図書館の基本な使い方やカウンター業務などの仕事体験や読み聞かせ、小学生版ビブリオバトル、本の修理など色々な内容に取り組んでももらった。

委員：参加したお子さんが家に帰ってから、とても楽しかったと言っていたという話を保護者から聞いた。

委員：利用統計について、入館者数、登録者数、貸出者数すべてにおいて横ばいという事は、長期低落しているということではないか。

図書館：当館だけではなく、全国的に読書離れと言われる状況が進んでいるようである。

委員：具体的に他の図書館のデータと比較しないと傾向は分からないが、宮代では歯止めがかかっているのか。

図書館：埼玉県による県内図書館の統計資料では、宮代町の住民一人あたりの貸出冊数は県内2位である。

委員：貸出冊数の制限を設けていないことも関係しているのか。

図書館：関係していると思われる。

委員：電子書籍の利用はどのような状況なのか。

図書館：少ない方だと思われる。もっと宣伝等に力を入れる必要があると認識している。ただし、電子化できる資料に限りがあることや費用の問題等の課題もある。

委員：読める資料の分野に偏りがあると思う。

委員：利用者を増やしていくためには、利用登録の要件を在住・在勤・在学に限定しないようにすることも一案ではないか。川口市や船橋市は免許証提示で登録ができる。

事務局：登録要件については、町の条例で定められている。近隣市町とは公共施設の相互利用協定によるものである。そのため、仮に登録要件を変更するためには、条例の改正等の手続きが必要になってくる。

…図書館長から当日配布資料「平成29年4月－9月 年代別利用人数」について説明。

委員：杉戸町の図書館は、生涯学習施設と併設していることもあり、受験勉強のために中高校生に夜間開放したりする取組を積極的に実施している。また、館内には、学習スペースも多く確保されている。宮代町の年代別利用者を見ると高校生の利用が極端に少ないので、杉戸町と同様の取組を実施することで、これらの年代の利用促進を図ることができるのではないか。

図書館：資料の数字は、貸出手続を行った利用者のデータなので、勉強しに来ているだけの利用者は数字として出てこないが、試験の時期には、多くの学生が勉強をしに来館している。

委員：自分の子供はまだ受験生ではないため、図書館で勉強はしていないが、これから受験生になったら、勉強できるスペースが十分にあれば、図書館を利用するのではないかと思う。

委員：この図書館は、残念だが、落ち着いて静かに勉強したい人に適したスペースがないのが現状である。

図書館：夏休み期間中、研修室の利用に空きがある時は、学習スペースとして開放している。

委員：現在の施設では、現実的に今以上のスペースを求めることはできないので、現状のスペースの利用をもっとアピールしていただければ良いと思う。

委員：杉戸町では、宮代でも行っている雑誌のスポンサー制度で、新しいスポンサーが入った時にメールマガジンを送信してくれる。そのようなサービスをしていると分かれば、他の企業も参加してくれるかもしれない。その結果、購入停止を考えていた雑誌もスポンサー金で購入継続ができるのではないか。

委員：メールマガジンはコストがかかるものか。

事務局：システム的なコストはそれほどではないと思われるが、定期的に配信するメー

ルマガジンの内容の企画、編集等の人件費が増えることになると思われる。

事務局：年代別利用人数の資料は、第1回会議でのご要望を受けて、今回はじめて作成したものであるが、今後、利用者を増やしていくため、あるいは利用者サービスの向上を図るための取組のヒントとして利用していきたい。

委員：利用者数を増やしていくためには、地理的な条件等で図書館の利用が難しい人への対応を考えていただく必要があると思う。今は移動図書館もなくなってしまっており、以前の会議では、地域の集会所を利用した貸出しを検討するという話もあったが、その辺りの検討状況はどうなのか。高齢になると図書館まで来るのが大変なので、そういう所で借りられたらという声も聞いている。

図書館：具体的な検討は進んでいないが、例えば集会所や公民館に一定期間、本を置いておいて、ご利用いただくという方法も考えられるが、その場合、そこから家に持ち帰られてしまうと返却されないリスクがあるため、その場所での利用に限定させていただく必要があるかもしれない。また、いずれの場所でも、本を管理する責任者がいることが最低条件になる。

事務局：高齢化社会が進んでいく中で、車を運転することが難しい方も増えてくるので、そういった方々に本に触れてもらう機会を作っていくこともこれからの図書館の使命であると思われる。また、町としても、シニアの方々へのサポートという意味でも必要であると考えている。最近、各地域の集会所で高齢者サロンが出来てきているので、そのような所と連携を図るなどの方策も含め、これから検討していきたい。

委員：本を借りる時は、町の循環バスを使ってでも来館することもできるが、返却だけのために来館しなければならないことを考えてしまうと、ハードルが高くなってしまいますので、返却ポストの利便性を向上していただけるとありがたい。役場の返却ポストは開庁時間しか利用できないが、もっと返却しやすくなれば、借りる人も借りやすくなるのではないかと。

委員：宮代町は借りる場所は図書館のみだが、役場とか公民館とか選択できるようなサービスを実施している場所もある。

委員：宮代町の公民館は、管理人が常住していないので無理だと思う。

事務局：役場のブックポストは確かに開庁時間にしか返却できないので、進修館のボランティア室に移動できれば、21時まで年中ほぼ無休という形で返却できるようになる。進修館に打診してみるが、スペースの問題もあるので、どうなるかわからない。

委員：蔵書について、以前、10年位前の朝日新聞縮刷版を借りに来たが、この図書館にはなかった。図書館には、個人では購入できないもの、高額のものなどを揃えてもらえるとありがたいと思う。

図書館：自館にはないが、他館で所蔵しており貸出が可能な資料であれば取り寄せることができるので、リクエストをして欲しい。

委員：新聞各社の登録をして過去の記事を買取ったりしないのか。

図書館：データベースはあるけれども、利用のニーズもあるので、図書館としては入れたところだが高額のために難しい。

委員：今のケースは相互貸借できるので、窓口相談するようにということがもっと浸透できれば、受付のハードルを低くすることからまず始めてみたらよい。

委員：蔵書構築について、寄贈は去年の実績よりも増えているが、寄贈本に関してはどのように対応しているのか。すべて受け入れているのか。

図書館：蔵書スペースにも限界があるので、すべて蔵書として受け入れているわけではない。同じ本でも図書館にあるものが傷んでいる場合、差し替えを行っている。332冊は蔵書として受け入れた数。受け入れられないものは、リサイクルコーナーに回している。

委員：児童書コーナーのNDC配架は、最初の頃は細かい分類がなかったため、とても探しにくかったが、差し込み案内板がたくさん設置されて探しやすくなった。はじめて図書館に来た人が、お目当ての本をすぐに見つけることができるか、探したけど分からないからもういいやとあきらめて帰ってしまうかどうかでは、図書館に対する印象が大きく変わると思う。差し込み案内板は学校の図書室にも使っていきたい。一般書にも、全館に少しずつでも拡げて欲しい。

委員：知識絵本の配架場所が最近見やすい場所が変わったが、知識絵本は子供たちにも人気があるので、配架場所の変更はとても良いと思う。絶えず、見やすくしよう、探しやすくしようとする努力には頭が下がる。ぜひ一般書の方にも拡げていってもらいたい。

委員：第1回の会議でも指摘したが、新刊書はまず新刊のコーナーに並ぶが、例えば六法全書や新聞の縮刷版などを利用する常連の人は、通常、新刊書コーナーは確認せずに配架場所に直接行く。そうすると新刊が出ていることに気付かない。配架場所に新刊コーナーに新刊書があることを知らせるため、新刊書の外箱を置くなどの工夫をしてもらえるとありがたいと思う。

図書館：箱があればできるが、工夫させていただく。

委員：蔵書構築について、購入図書2,558冊の分野別はどのような割合か。

図書館：小説9類が多い。他の分野も広く浅く新しいものがあれば購入している。

委員：他館の本をリクエストしたら購入してくれたことがあった。リクエストで求められている傾向が分って購入したりするのだと思う。

委員：インターネットでのリクエストコーナーに、所蔵以外の本のリクエストができるようにするのは難しいのか。

図書館：インターネットからは所蔵本のみしか対応していない。

◇4 その他

…事務局から「第1回会議配布資料「図書館ビジョン（参考資料1）の更新データ」について説明。

委員：日本工業大学や宮代高校の入学式に出向いて臨時登録会はできないものか。登録会まではいかなくてもパンフレットの配布はできるのではないか。

図書館：連携をしていきたいと思っている。現在、大学ではチラシや図書館だよりを置かせてもらっている。宮代高校とは文芸部の先生に連携事業の相談を持ちかけている状況である。

委員：日本工業大学や宮代高校の学生について言えば、図書館の本を各学校の図書室で返却できるようにすると、利用が増えるのではないか。

委員：第1回会議でも指摘したが、マナーの悪い利用者が多いので、スタッフによる注意の徹底をお願いしたい。

事務局：次回会議については、3月上旬～中旬で日程調整させていただく。

以上